

令和元年度 第3回

五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民検討委員会のまとめ

五泉市
企画政策課

開催概要

平成27年に「五泉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」を策定し人口減少問題に取り組んできました。国は令和元年6月に「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」で第2期総合戦略を策定することとなりました。

五泉市でも引き続き人口減少問題に取り組んでいくため、各分野の方々からご意見・ご提案をいただき、令和2年度からの「第2次五泉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」を策定します。

日時	第3回 令和元年8月23日(金) 午前10時～11時30分
会場	五泉図書館
参加委員	14名 (産学官金労言士の各分野計20名で構成)
内容	<p>●説明</p> <p>(1) 第1次総合戦略の総括について</p> <p>(2) まち・ひと・しごと創生基本方針2019 (国の動き)について</p> <p>(3) 人口ビジョン(将来展望)について</p> <p>(4) 基本方針・施策について</p> <p>●意見交換</p> <p>「人口ビジョン(将来展望)についての意見・提案」</p> <p>「基本方針・施策についての意見・提案」</p>

意見交換

「人口ビジョン(将来展望)についての意見・提案」

・第2次総合戦略を策定するタイミングで、今なぜ人口推計の見直しをしなければならないのか。見直しによって今後の戦略の中でどう影響するのか改めてご説明いただきたい。
→人口ビジョンを見直さず、そのまま総合戦略に取り組むことも一つの考え方としてあるが、実際の五泉市の状況は4年前に目標とした人口よりも、人口減少が進んでいるため、より現実的な人口ビジョンを新たに作り、それに向けた戦略を練り直す必要があると考える。

・2060年の人口を設定にあたり合計特殊出生率2.07を目標にするのは重要だと思う。減ることを前提としていては他との奪い合いになり、国全体として減少していくだけ。自治体として考えるなら自治体の中でどのように出生率を増やしていくかを考えることが重要である。目標期限が国の目標よりも先だとしても、それに向けて行動することは大切だと思う。

・現在の合計特殊出生率1.17を2.07に上げるのは非常に難しいと思うので、相当の施策をしなければならないと感じた。

・2.07は厳しい数字だが目標だけでもそこに立てなくては地域も維持できなくなる。

「基本方針・施策についての意見・提案」

・結婚してもなかなか子どもができず妊活をしている方もいる。費用も掛かるため、支援を手厚くしてもらえたらありがたいといった話が結構あった。初婚年齢の若年化も大事だと思うが、結婚している方々が、着実に子どもが産めるような施策、支援が必要。

・“14歳以下の子どもとその親世帯の転入促進”は面白い視点だと感じた。私は粟島浦村のしおかぜ留学をイメージした。学校も統廃合が進んでいる状況で、選ばれる学校を作っていないと学校も存続していかないと考えている。近隣だけでなく首都圏からも来ていただけるような学校。中学校では全国で11万人の不登校のお子さんがある。隠れ不登校というなかなか教室に行けないような子も含めると40万人くらいいる。NHKの特集では、同じ場所で同じことを学ぶという日本の教育のシステムも限界がきてそういうことが起きているのだろうと。そういう子どもたちの学びの場を確保するような学校を五泉市につくるといっても考えられる。